

ecoサポート

環境学習推進センター情報誌第34号

CONTENTS

- P1 エコっこスクール2016、自然環境セミナーレポート
- P2 環境学習講座レポート
- P3 特集「森林セラピー」って何?
- P4 山口「環境絵日記」コンテスト入賞作品
山口県環境学習功労者知事表彰
環境学習講演会、エコっこスクール2016の案内

こども環境学習講座エコっこスクール2016レポート

小学校4～6年生を対象に、生きものや自然観察、工場や施設見学、講義などの講座を夏休み期間に4回実施しました。いずれも最後に各自又は各班で学習や観察したこととりまとめを行い、作成した表を使って全員が発表しました。

<1日型>

7月29日(金)「海辺の生きもの観察 in つのしま」

◆参加者35人(申込者44人)

<つのしま自然館> 角島の自然環境や砂浜の役割についての学習 <大浜海岸> 海岸植物やカニ等の生きもの観察 <東法湾> 磯の生きものの採取と観察



8月18日(木)「化石採集体験と洞くつ観察 in 秋吉台」

◆参加者33人(申込者50人)

<秋吉台科学博物館> 秋吉台のなりたちや自然環境、化石についての学習と化石の採集体験 <秋吉台エコ・ミュージアム> 秋吉台で産出される石灰岩や大理石の使用用途等の学習 <大正洞> 鍾乳石やコウモリ等の観察



<宿泊型>

第1回 8月9日(火)～10日(水)

◆参加者36人(申込者48人)

<一の坂川> 水生生物の採取と観察、川の水質判定 <積水ハウス(株)山口工場> 企業の環境への取組についての学習 <山口合同ガス(株)ひまわり館> 天然ガスなどのエネルギーの学習と燃料電池の実験 <セミナーパーク> リサイクルや省エネについての学習、夏の星座の学習と天体観測 <きらら浜自然観察公園> ヨシ原に棲む生きものの採取と観察 <シーパーツ(株)山口工場> 自動車リサイクルについての学習と工場見学 <景清洞> サンゴの化石や鍾乳石等の観察



第2回 8月24日(水)～25日(木)

◆参加者35人(申込者50人)

<セミナーパーク> 葉脈の働きについての学習と葉脈標本でしおり作り、ミクロ生物についての学習と観察 <秋吉台エコ・ミュージアム> 秋吉台のなりたちについての学習 <大正洞> 鍾乳石や生きもの等の観察 <中国電力(株)新小野田発電所> 電気のつくりにかたについての学習と工場見学 <豊田ホテルの里ミュージアム> ホテルの生態等についての学習と施設見学 <山口県内海栽培漁業センター> 栽培漁業についての学習と施設見学

自然環境セミナー

●開催日 10月8日(土) 13:00～16:45

●場所 山口県セミナーパーク 大研修室

●参加者 98人

●内容

◇基調講演 「自然の見方・伝え方～自然のおもしろさを伝えるために～」
沖縄大学人文学部こども文化学科教授 盛口 満 氏

中学校や高校の生徒に理科の授業に興味を持たせるため、教材に骨を用いた。すると生徒の中にも「自分も骨の標本を作ってみよう」という子が出てきて、放課後自主的な集まりができた。多くの人が嫌う「ゴキブリ」だが実はその生態はよく知られていない。日本には58種の「ゴキブリ」がいるが、家に棲むのは1～2種類で、実際に飼ってみると成長スピードは遅く、産卵数は普通で、人間がえさを与え、棲みかを作ったり、天敵がいない状況にしているから増える。知っているようで実は知らないことはたくさんある。小学生や大学生が児童の絵を描くとだいたい同じイラストになるが、魚やカニ、エビなどを描くと全然違うイラストになる。知らないものに対しては情報が少ないので、共通のイメージを持ちやすいが、実際に見れるものに対しては情報が多いので、よく観察していないと正確なイラストが描けない。

他にも、講師が持参した動物を使って、特徴等について説明があった。動物は食べるもので歯の形が違ってくる。骨を見てみるとその動物の暮らしや食べ物、進化の歴史がわかる。また、植物の実を使って、動物との関係や種子散布などについて説明もあった。

◇事例発表

①「海の森プロジェクト」

②「子供たちに不足している実体験を補う」

③「滑松の歴史と保存活動」

日本森林インストラクター協会理事

森林インストラクター東京会前会長

森林インストラクター山口会会長

瀬戸 哲郎 氏

石井 誠治 氏

橋本 順子 氏



環境学習講座レポート

竜王山の自然観察会

開催日 10月10日(祝・月) 9:30~15:00
場所 きらら交流館・竜王山周辺(山陽小野田市焼野海岸)
参加者 43人(申込者50人)



午前中は本山岬のくぐり岩や市の天然記念物のハマセンダンなどを観察し、午後からはきらら交流館で竜王山の自然と保全活動について学習した後、竜王山公園に移動し、アサギマダラと山野草の観察を行いました。当日は風もなく晴れて暖かかったので多くのアサギマダラを観察することができ、ヒヨドリバナ、モリアザミ、ツルニンジン、ツユクサなどの山野草も観察しました。

参加者からは「生まれて初めてアサギマダラを見ました。とてもきれいでした。」「知らない草花や初めて見る花に心弾ませました。」「自然が作った奇岩に感動しました。」などの感想をいただきました。

秋吉台の植物観察～秋の草花観察



開催日 10月16日(日) 9:40~12:20
場所 秋吉台冠山周辺(美祢市美東町赤)
参加者 35人(申込者60人)



当日はあいにくの雨で、予定していた地獄台のコースは危険なため、冠山から中国自然歩道を経由して長者ヶ森に帰る約2kmのコースを歩きながら草花を観察しました。今年の夏は暑く、長かったので秋の花の開花が遅く、あまり多くの草花を見ることはできませんでしたが、アキヨシアザミを観察することができました。草花の名前や由来、特徴などを聞きながら、ナンバンギセル、リンドウ、アキノキリンソウ、カワミドリ、ヒメヒゴタイなどを観察しました。参加者からは「自然の中の小さな世界、大きな力を感じた。」「ヒメヒゴタイがとてもきれいでした。」などの感想をいただきました。

角島の自然・ダルマギク観察会



開催日 11月6日(日) 10:00~14:00
場所 つのしま自然館、夢崎波の公園、牧崎風の公園(下関市豊北町)
参加者 44人(申込者45人)

午前中は角島の自然環境と四季の植物について学習した後、夢崎波の公園で植物観察を行う予定でしたが、急な雨のため、角島灯台付近を観察しました。午後からは牧崎風の公園でダルマギクの観察を行いました。立っているのがやつの強風のため、最短コースでの観察としました。群生するダルマギクの他、ツノシマアザミ、カワラナデ

シロ、ツワブキ、ハマナタメ等の植物のほか、マグマが冷えて固まった柱状節理も観察しました。

参加者からは「ダルマギクの葉がネバネバしているとは知らなかった。」「ダルマギクを初めて見た。見事な群生地で感動した。」などの感想をいただきました。



自動車リサイクルを見てみよう!

自動車リサイクル関連の工場で使用済自動車の解体から熔融処理までの工程を見学しました。

開催日 11月11日(金) 9:00~16:50
参加者 37人(申込者64人)
見学場所・内容

◆(株)シーパーツ山口工場(美祢市)
使用済自動車の解体・選別工程の見学等

◆共英リサイクル(株)、共英製鋼(株)山口事業所(山陽小野田市)
使用済自動車等の破碎、選別施設の見学
ASRや医療廃棄物等の熔融処理施設の見学



参加者からは「廃車になった自動車の90~95%がリサイクルされているなんて驚きました。」「リサイクルの必要性を改めて考える機会になって良かった。」などの感想をいただきました。

「森林セラピー」て何？

「森林セラピー」とは？

癒しの効果が科学的に検証された「森林浴効果」をいいます。森林浴効果は科学的なものより精神的なものが大きいと言われてきましたが、研究の結果、樹木が発散する「フィトンチッド」と呼ばれる物質が心身にリフレッシュ効果をもたらしていることが分かってきました。

主な効果としては

- 森林の中の空気は排ガスなどが含まれる都市部の空気より体にやさしい。
- 樹木の香りが心を落ち着かせ、リラックス効果をもたらす。
- 日常と離れた場所に行くことにより雑念を忘れられる(天地効果)などがあげられます。



「森林セラピー基地」とは？

森林浴効果があると科学的に検証された森林で、森林セラピーロードを2本以上持っていることが条件であり、特定非営利活動法人「森林セラピーソサエティ」が認定した地域のことです。現在62の地域が認定されており、各地の森林セラピー基地では、訪れる人々のために健康増進やリラックスを目的とした様々な森林セラピープログラムが用意され、利用者は森林ウォーキングのほかにも様々な健康増進プログラムを楽しむことができます。

山口県では山口市徳地に森林セラピー基地があります。平成16年、国の「森林セラピー研究会」により、森林セラピーに適した先導的な地域を認定する取組が始まり、平成17年に山口市(当時の徳地町)では認定に向け森林浴効果を科学的に検証する実験を日本で初めて実施しました。この実験で徳地地域の森林は心身にリラックス効果をもたらすことが実証され、さらに森林環境においても優れた地域であることが認められ、平成18年に日本初となる「森林セラピー基地」に認定されました。

「森の案内人」って？どんな活動しているの？

森林を訪れる利用者が安全に森林浴効果が上がるような散策や運動ができるよう現地で案内する人のことで、森歩きを通じて、五感で森を感じ、リフレッシュやリラックスしていただくお手伝いをしています。現在、森の案内人には86人が登録されています。(平成28年12月現在)

主な活動は森歩きや登山の案内のほか、森歩きの申込のあった個人や団体の希望に沿ったコースなどをコーディネートしています。



平成28年度の主な活動

- 森フェス 年2回(5月、10月) ワークショップ、クラフト、森歩き、トレッキング、ノルディックウォーキング、森ヨガなど(森フェスは森と人の関わりや森とつながる暮らしについて考え、楽しみながら森を近くに感じてもらうイベント)
- 森林セラピー体験 毎月1回～3回 森歩き、トレッキング、自然観察、ノルディックウォーキングなど
- 健康登山 毎月1回(第3日曜日)

活動の内容等の詳細や最新情報については森の案内人のブログ「日々森好日」をご確認ください。

＜森林セラピー体験の申込み・問い合わせ先＞
山口市徳地森林セラピー基地 森の案内人の会事務局
TEL 0835-56-5234 FAX 0835-56-5235

森林セラピー体験レポート

日 時 11月18日(金) 10:00～12:00
場 所 国立山口徳地青少年自然の家
参加人数 23人

森林セラピー体験「森歩き～クヌギの森の冬支度」に参加しました。

最初にオリエンテーションがあり、メイン案内人の山本さんから「クヌギは日本の里山の代表的な木で昔から人間も動物も利用していた。この季節は生きものも冬支度をしている様子が見られる。」などの説明を聞いた後、「里山の秋 クヌギの森の恵みを探そう」をテーマに約2kmの長者ヶ原コースを歩きました。



コースで見られるオニグルミ、クヌギなどを観察しながら説明を聞きました。国蝶のオオムラサキはエノキとクヌギの双方が自生している山でないと生きていけないことや、イチヨウやアカマツの特徴や歴史などの説明もありました。里山の環境や、生物の共生などの学習のほか、スギ林では癒しの効果の成分「フィトンチッド」の説明もあり、森林浴効果いっぱいの森歩きでした。



山口「環境絵日記」コンテスト入賞作品

本年度初めて募集した山口「環境絵日記」コンテストに17作品(14人)の応募がありました。入賞者と作品名は次のとおりです。なお、10月23日(日)にセミナーパークで表彰式を行いました。

最優秀賞 低学年の部



「テレビを消して楽しいエコ生活」
山口市立大内小学校 3年
吉松 彩水 さん

最優秀賞 高学年の部



「ミクロの世界と豊かな海」
宇部市立藤山小学校 5年
阿部 新丈 さん

優秀賞 低学年の部

「きれいな川を大切に」
山口大学附属山口小学校 3年 岡本 連 さん
「つるの里のエコ活動」
周南市立八代小学校 3年 吉積 洸汰 さん
「かみをきったよ」
山口市立大内小学校 1年 吉松 奏水 さん

優秀賞 高学年の部

「郷土の自然を守る」
山口市立平川小学校 5年 佐藤 舞弥 さん
「分別とリサイクルは地球にとって宝物」
山口市立湯田小学校 4年 藤林 舞 さん
「海でいろいろ見つけたよ」
山口市立上郷小学校 4年 山本 真桜 さん



山口県環境学習功労者知事表彰受賞(表彰式:平成28年11月14日)

環境パートナー 中村 佳津子 さん

長年の環境学習指導者の功績が認められ、環境学習功労者として知事表彰を受賞されました。

環境学習講演会の御案内



<第1回>「おもしろエコサイエンスショー」

日時 平成29年1月22日(日) 13:30~15:00 (開場 13:00)
場所 山口県セミナーパーク 講堂
講師 阿部 清人 氏(サイエンスインストラクター)
定員 300人 <締切日 平成29年1月11日(水)>
内容 地球温暖化、リサイクル等の環境問題について家庭にある身近なものを使った科学実験を通して楽しく学習



<第2回>「私たちの未来を考える~地球温暖化とエネルギー~」

日時 平成29年2月19日(日) 13:30~15:00 (開場 13:00)
場所 山口県セミナーパーク 講堂
講師 松本 真由美 氏(東京大学教養学部客員准教授)
定員 300人 <募集期間 平成29年1月4日(水)~29年2月3日(金)>
内容 これからの未来に向けて知っておきたい地球温暖化とエネルギー問題について全体の概要を解説

エコっこスクール2016の御案内

みんなで学ぼう! 海の生きもの in 海響館

開催日 平成29年2月26日(日)
場所 下関市立しものせき水族館
対象 小学校4~6年生
定員 40人程度(参加申込者多数の場合は抽選)
※ 内容等の詳細はHPやチラシをご覧ください。



バックヤード見学



ワークシート学習



<編集後記>

夏のエコっこ、自然環境セミナー、秋の自然観察会などバタバタしているうちに今年もあと少しになってしまいました。毎年今年こそは計画的に過ごそうと思っはてはいますが思うようには過ごせず…。来年こそは公私共に計画的に過ごせますように! 皆様、今年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします(藤井)

発行元 (公財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

